



こうざき

議会だより



第120号

11月1日

発行・神崎町議会 編集・議会広報編集特別委員会 ☎289-0292 千葉県香取郡神崎町神崎本宿163 ☎0478(72)2115



耐震改修後の役場庁舎

令和元年第4回定例会

平成30年度各会計決算を認定

補正予算4000万円を可決 マラソン大会実行委員会への補助金など

令和元年第4回定例会を9月4日から17日までの会期14日間で開催しました。

会議では、固定資産評価審査委員会委員の選任同意、教育委員会委員の任命同意、条例の制定、補正予算並びに平成30年度一般会計ほか4特別会計の決算認定が審議され、全ての議案が同意、可決、認定されました。

また、一般質問は6名が予定していましたが、台風15号の影響等の関係で、12月定例会に先送りしました。



議会の様子

議案等の概要

◎神崎町固定資産評価審査委員会委員の選任同意

9月30日をもって任期が満了する固定資産評価審査委員会委員に、坂本 直氏（神崎神宿在住）を再度選任することに同意しました。

◎神崎町教育委員会委員の任命同意

9月30日をもって任期が満了する教育委員に、小堀あい子氏（武田在住）を再度任命することに同意しました。

◎町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の制定

堅実な財政運営を行っていくため、特別職の給与と現行の減額率から更に引き上げ、町長は30%、副町長及



質問をする大原議員

び教育長は17%の減額措置をする条例を制定するものです。

◎神崎町印鑑条例の一部を改正する条例の制定
本年11月5日から、婚姻



提案理由を述べる榑町長

等で氏に変更があった場合でも届け出をすることにより、住民票やマイナンバーカード等に旧氏を併記できるようになる、住民基本台帳法施行令等の一部が施行されることに合わせて条例を改正するものです。

◎神崎町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定
10月からの消費税率の変更に伴い、水道料金や給水申し込み負担金の金額を改正するため、条例を改正するものです。

◎町有財産の処分について
町が所有している、株式会社発祥の里の株式の一部売り払いに係るもので、売り払い予定価格が700万円を超えることから、地方自治法等の規定に基づき議会の議決を求めるものです。（中小企業認定するため、減資するものです。）

◎令和元年度神崎町一般会計補正予算（第2号）
既定予算に4000万円

を増額し、予算総額を26億7500万円とするものです。歳出の主なものは、プレミアム付商品券の発行、公用車の購入、小松地先の道路舗装修繕工事、マラソン大会実行委員会補助金等にかかる経費等です。



また、歳入は、国・県補助金、株式会社発酵の里関係の株式売り払い収入等と前年度の繰越金です。

◎令和元年度神崎町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

既定予算に1060万円を増額し、総額を5億8560万円とするものです。歳出の主なものは、介護保険基金への積立金666万6千円と前年度国・県の負担金精算による返還金です。

補正予算の概要 (主なもの)

会計名	補正額	補正の内容
一般会計	4,000 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会実行委員会補助金 500 万円 ・プレミアム付商品券事業 400 万円 ・公用車購入 (1 台買替え) 199 万円 ・住宅リフォーム補助金 120 万円 ・まちづくり基金積立金 400 万円 ・町道維持管理事業 (小松地先舗装修繕工事等) 629 万円

審議の結果 (第4回定例会)

件名	結果	賛否数
町長提出議案 ○印は議案番号		
①神崎町固定資産評価審査委員会委員の選任同意	同意	全員一致
②神崎町教育委員会委員の任命同意	同意	全員一致
③町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の制定	原案可決	賛成 8 反対 1
④神崎町印鑑条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	全員一致
⑤神崎町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	全員一致
⑥町有財産の処分	原案可決	全員一致
⑦令和元年度神崎町一般会計補正予算 (第2号)	原案可決	全員一致
⑧令和元年度神崎町介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)	原案可決	賛成 8 反対 1
決算認定議案		
①平成30年度神崎町一般会計歳入歳出決算の認定	認定	全員一致
②平成30年度神崎町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	全員一致
③平成30年度神崎町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	全員一致
④平成30年度神崎町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	全員一致
⑤平成30年度神崎町水道事業会計決算の認定	認定	全員一致

平成30年度 一般会計ほか4会計の決算を認定

平成30年度決算は、9月4日に上程され、渡辺英男代表監査委員から決算審査意見書の説明を受け、その後、5日に総務文教常任委員会、6日にまちづくり厚生常任委員会で審査を行い、17日本会議で審議し、全て認定されました。主な質疑、討論は次のとおりです。



議会(採決)の様子

平成30年度会計別決算額

(単位:千円)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	翌年度への繰越額	実質収支額	
一般会計	2,790,269	2,636,863	153,406	15,938	137,468	
特別会計	国民健康保険	789,186	741,202	47,984	0	47,984
	介護保険	571,084	561,424	9,660	0	9,660
	後期高齢者医療	76,775	76,763	12	0	12
水道事業(収益的収支)	211,394	175,291	36,103	0	36,103	

監査委員からの 意見(要旨)



渡辺代表監査委員

政運営に努められることを望みます。

(国保会計)

国保税の徴収率を例年になく上昇させたこと、また、基金へ5000万円積立できたことは評価できるが、今後も医療費の増加が予想され、事業運営が厳しさを増して行くなか、財政基盤の安定を図るための検討が必要と思われる。

(介護保険会計)

サービス内容の周知とともに、保険料納付の啓発・不納欠損額の縮小に努めていただきたい。

また、介護予防の取組を強化し、介護給付費の増高を緩和できることを期待します。

(後期高齢会計)

普通徴収保険料の未納額が増えているので、解消に努めていただきたい。

(水道事業会計)

会計全体の赤字傾向は今後も続くと思われるので、投資に見合う給水人口の確保など、給水量の増加に取り組むことを望みます。

健全財政を堅持しつつ効率的な業務を執行できたことは評価すべきことと考える。また、町税の収納額、徴収率ともに上昇したことは、徴収の努力が伺えました。今後は財政調整基金を有効活用し、住民ニーズに的確に対応し、活気ある神崎町の創造のため、効率的な行財

平成30年度の歳入歳出決算は、7月23日から26日までの4日間決算審査を行い、関係法令に基づく諸帳簿と照合の結果正確であり、予算の執行も概ねその目的に沿い、適法になされているものと認められました。

(一般会計)

総括質問

総務文教常任委員会



高柳常任委員長

問 コンビニ収納が始まったが、収納に係る利点及び収納状況について、説明して下さい。

問 差し押さえ等の種類、件数、金額等について実績を教えてください。

答 昨年度からコンビニで税金等の納付が可能となりました。取扱は全国約20系列のコンビニが対応しています。これにより、今までのように役場や銀行等と納付する時間や場所に制限があり納付が難しい方でも、コンビニがあれば出先でも24時間納付ができるなどのメリットがあげられます。

答 平成30年度の差し押さえ実績は、144件、税額で4500万円、換価・充当額で約1370万円となっています。内訳は、預金54件、給与28件、生命保険26件、動産10件、その他に国税還付金や不動産があります。

また、平成30年度からヤフーのホームページにおいて、官公庁専用のインターネット公売の活用をはじめ、昨年度は、普通自動車・原付バイク・テーブルを公売しました。

生活空間の安全確保の取組みを集約的に支援するため、平成24年度に創設された交付金となります。

平成30年度は、事前防災・減災対策として、役場庁舎及びわくわく西の城体育館耐震改修事業（設計分）で518万1千円の交付を受けました。

また、町税の収納状況は、平成30年度では、約4800件で月平均約400件の納付がありました。本町のコンビニ納付率は約2割近くの利用率があり、近隣市町の利用率より高い傾向です。

問 防災・安全交付金の内訳は、どのようなものか説明して下さい。

答 防災・安全交付金は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な



伊地山クリーンセンター

の中で、伊地山可燃不燃物処理施設費が前年比2800万円増の9180万円となつているのが主な要因です。内容は、伊地山クリーンセンターの焼却炉3基の緊急的修繕工事を行ったためで、工事費のほか、その間処理できないゴミの外部施設での処理委託や運搬費などが増額となりました。

修理の原因は、焼却炉の稼働日数が増加し、定期清掃ができなかったり、各設備に負荷がかかり予期しない故障発生や損傷が出ているといった状況があげられます。今後は、ゴミの減量化やリサイクル化を促進して、焼却炉の負担軽減を図り、適正な施設の維持管理に努めるようにいたします。

問 特定健診の受診率が低いが、今後受診率向上対策はどのようなことを考えていますか。

答 平成30年度の特定健診の受診率は、約38%で目標の実施率45%には及びませんでした。受診率の推移を

みると、平成24年度の29.6%から着実に増加傾向にはあります。

今後、さらに受診率向上を図るために、健診の重要性、生活習慣の早期改善等を理解してもらえようように、なお二層のPR活動を通じて、情報提供を実施して参ります。



特定健診のようす

問 町民体育館耐震改修事業で、今後どのように活用していく予定で改修するのですか。

答 当初の計画は、高齢者の健康づくりのためのスポーツ施設（ジムのようなもの）

を考えていました。しかし、耐震補強だけでは利用できず、屋根の変更、壁や床のリフォームなど全面改修が必要な状況です。このため、改修事業費は膨らみ、また、ジム運営をするには、設備投資や人員の配置など更に経費がかかるため、改修事業は本年度見送られている状況です。

今後、体育館として再生するのか、また新たな施設を建設するのか、あらゆる可能性を考え、計画を再検討したいと考えています。



町民体育館

まちづくり厚生常任委員会



椿常任委員長

問 健康相談ダイヤル24について、詳細及び実績を説明してください。

答 本事業は、24時間・年中無休で町内在住者を限定とし、医師や保健師、看護師等による健康・医療・介護・育児・メンタルヘルスの電話相談を行うものです。実績として、平成29年度は323件、平成30年度は262件で、身体の症状に関する相談が約3割を占め、続いて治療に関する相談や育児に関する相談などが多く上げられます。また、土曜、日曜、祝日や大型連休にも対応できることで、利用者に医療機関情報の提供などがサービスの特徴の一つ

あります。
周知については、毎年3月にチラシを各戸配布しております。

問 子ども医療費助成の内容と実績を説明してください。

答 子ども医療助成は、産まれた子どもから中学3年生までを対象に医療費の一部を助成する制度であります。町民税課税世帯については通院1件につき200円の自己負担を、町民税非課税世帯については自己負担0円ということで負担区分を決めて実施しています。



本事業は単独事業ですが、平成29年度より町独自として高校3年生までを対象とする医療費助成としました。助成の方法については、中学3年生までは現物給付とし、高校生については償還払

いとなります。

平成30年度実績で、助成対象者数は778人であり、うち高校生は157人でした。通院件数は5996件で、うち高校生は899件、入院は27件で、うち高校生は2件となりました。

問 多面的機能支払交付金事業の内容及び存続について説明して下さい。

答 本事業は、各集落が組織を構成し、集落ぐるみで農地・農業用施設を保全管理していく事業です。農業用施設の除草や、水路の泥上げといった、施設等の保全活動に関する農地維持・資源向上支払交付金（共同）と、農道の舗装や水路の底打ちといった、施設の長寿命化対策を行う資源向上支払交付金（長寿命化）に分かれております。

農地維持は本町で昨年10集落が取り組み、長寿命化は7集落が実施しております。本制度は5年間の計画を認定し、事業を実施していくものですので、少なくと

も5年間は間違いなく継続しますが、法制化されたこともあり、長期にわたり制度は存続していくものと思われれます。



舗装された農道

問 移住・定住者支援事業の内容及び審査基準について説明して下さい。

答 平成30年度より移住・定住奨励金として、神崎町に転入し、町内に住宅を新築又は中古物件を購入された方を対象に奨励金を交付しております。（基礎額50万円、加算額（39歳以下の場合20万円、18歳未満の子一人につき5万円、町内業者施工の場合20万円）実績としましては、平成30年度が6件17人、本年度は既に4

件8人の交付決定をしており
ます。移住者の審査基準で
すが、転入条件及び住宅所
有条件のほか、自己及びその
属する世帯員のいずれにも町
税等の滞納がない者となつて
おります。

**問 並木地先の法面測量調
査業務の内容について説明
して下さい。**

答 平成26年度に道路付属
施設の点検をしたところ、並
木田向根地先のJ R線路脇
のモルタル吹付法面に経年劣
化による亀裂や空洞化が発
見され、このままだと法面崩
落の恐れがあるとの点検結果
となりましたので、修繕のた
めの現況測量や用地境界確
定測量を実施しました。



並木田向根地先・法面

令和元年度は、この測量
結果を基に、法面の修繕等
を実施するための設計業務
を予算化しており、工法と
それに対する費用を比較検
討し、J R線路近接工事とな
るためJ Rと協議を進める
予定です。

討 論

反対 なし

賛成 高柳 智議員

(要旨)

平成30年度一般会計、特
別会計決算の認定について、
賛成の立場から討論を行
います。

平成30年度の一般会計は、
歳入総額27億9026万9
千円、歳出総額は26億36
86万3千円、実質収支は
1億3746万8千円で、前
年度比2508万3千円の減
となつています。

歳入では、町税が7億4
594万2千円で、前年度
比4001万2千円の増、地
方交付税が9億5972万2
千円で、前年度比868万
円の増額となつています。一
方国庫支出金は、道の駅関
連の建設補助金がなくなつた
ため、1億2972万6千円
で前年度比6031万7千
円の減額となつています。

また、繰入金が増加した
のは、財政調整基金を取り
崩し、今後の町施設の改修
等のための公共施設整備基
金等を創設したことにより
ます。

事業の執行においては、平
成29年度で道の駅新鮮棟
建設工事が完了し、商工費
が前年度比マイナス82・8%
と大幅に減少しました。ま
た、衛生費が前年度比プラ
ス14・5%と増加したのは、
ごみ処理施設の改修費用等
が増えたため、香取広域市
町村圏事務組合への負担金
が増えたことによります。
教育費では、町民体育館耐
震改修事業及び給食セン
ターの食器洗浄機の交換によ

り前年度比プラス87%と増
加しました。

全体では、高齢者・障害
者福祉の充実、こども医療
費の助成・給食費全額助成
などの少子化対策、自給率
向上などの農業対策、発酵
及び酒蔵まつりなどの観光
事業などについて、幅広く施
策を実施し、成果を上げて
いるところです。

特別会計においては、国
民健康保険事業では制度が
大幅に改正され、財政運営
の主体を千葉県が行うこと



交換した食器洗浄機

となり財政の安定化が図ら
れたとともに、5000万円
を基金に積み立てています。
水道事業では安全な水を供
給するため、職員が24時間
管理を行っています。無駄な
支出を減らし、安定した経
営を行っているところです。

以上、平成30年度決算は、
経費の削減に努め、予算が
的確に実施されており、大
変評価できるものであり、一
般会計、特別会計の決算に
対する賛成討論といたしま
す。

議会を傍聴しませんか

次回議会(第5回定例会)が12月に開催されます。
ぜひ傍聴にお越しください。

議会の動き

9 月

- 4日 第4回定例会(第1日)
- 5日 総務文教常任委員会
- 6日 まちづくり厚生常任委員会
- 7日 神崎中学校体育祭
- 12日 第4回定例会(第2日)
- 14日 米沢小学校、米沢保育所運動会(石橋議長、議員)
- 17日 第4回定例会(第3日)
- 21日 神崎小学校運動会(荒井副議長、議員)
- 28日 神崎保育所運動会(石橋議長)

10 月

- 2日 議会広報編集特別委員会
- 21日 県道成田神崎線整備促進要望(石橋議長、椿議員)
- 23日 議会広報編集特別委員会
- 25日 香取広域市町村圏事務組合議会(石橋議長、石井議員)
- 27日 神崎町文化祭(芸能発表会)(石橋議長)
- 30日 千葉県町村議会議長会臨時会(石橋議長)

台風15号の災害現場を視察

9月12日、議会終了後、議員8名が去る9日未明からの台風15号による町内の災害現場を視察しました。まず、避難所となつているふれあいプラザを訪問し、被災した方々を慰問した後、町内の倒木箇所等の災害現場を視察し、改めて被害の大きさを実感しました。



避難所訪問のようす



倒木のようす

台風15号により被災された皆さまに

心よりお見舞い申し上げます。

神崎町議会

香取郡市町議会議員研修大会

8月23日、多古町コミュニティプラザで、令和元年度香取郡市町議会議員研修大会が開催されました。この研修大会は、香取郡市町議会議長会の主催により毎年開催されているもので、当日は、1市3町の議員をはじめ、林 幹雄、谷田川 元両代議士のほか多くの来賓を迎え、本町からは議員9名、町長、総務課長が出席しました。研修は、歴史エンターテイメント作家の瀧津 孝氏から「歴史エンターテイメントと地域おこし」と題した講演が行われました。



講師：瀧津 孝氏



挨拶する石橋議長

編集後記

9月9日未明の台風15号が千葉県全域に甚大な被害をもたらし、我が神崎町も一部を除き停電、断水と不便な思いをしました。特に倒木による停電は東日本大震災の時よりも長く、10日以上に及ぶ不便な生活を強いられました。これからも同等、それ以上の台風が来るかもしれません。防災用品等の確保「備えあれば憂いなし」のことわざのように日頃からの準備が大事です。

また、小中学校の運動会は天候に恵まれ、無事終わり、9月の定例議会の一般質問は12月の議会に行うことになり、決算認定5件の質疑、討論及び採決が無事終了しました。まとまりませんがこれをもって編集後記とさせていただきます。

荒井 葉一